

眼前に広がる癒しの景色 11月2日 第27回 みま町コスモスまつり

「みま町コスモスまつり」が、三間町の中山池自然公園を会場に行われました。今年は、台風や不安定な気候の影響で、コスモスの生育にばらつきがありましたが、鮮やかなオレンジ色のコスモスと



三間高校の生徒が作成したアニメキャラクターのワラ人形が会場を飾り、来場者を迎えました。

当日はあいにくの天気でしたが、ステージイベントや多くの出店が軒を並べたコスモス市など、多くの来場者で賑わいを見せました。



約800個の風船にコスモスの種を付けて飛ばすバルーンリリースでは、来場者が一斉に放った風船が、コスモスのように空を彩りました。

車椅子の寄贈に感謝状贈呈

10月6日



10月6日(月)、宇和島中央ライオンズクラブより、車椅子20台が市に寄贈され、贈呈式が市役所で行われました。

車椅子の寄贈は宇和島中央ライオンズクラブ創立50周年記念事業の一環として行われました。土居 道興同クラブ会長より目録を受け取った石橋市長は、「大切に使用させていただきます」とお礼のあいさつを述べ、感謝状を手渡しました。

寄贈された車椅子は、本庁・支所のほか、市立病院、介護老人保健施設にて利用されています。



蘇る時代絵巻 吉田おねり行列

11月3日



秋晴れの青空の下、吉田町の本丁通りを中心に、おねり行列が行われました。

江戸時代から続くおねり行列は、参勤交代の船を模したのから、高さ3mを超える2階建の山車に偉人の人形を奉ったものなど大

きさや種類もさまざま、市の無形文化財に登録されています。また、今年は新調された「宝多」や「御神餅と懸け鯛」も披露され、おねり行列が一層華やかなものになりました。

沿道には多くの人が見物に訪れ、勇壮な時代絵巻を写真に収めたり、触れたりして賑わいました。



県による原子力防災訓練

10月21日

10月21日(火)、四国電力伊方原子力発電所での放射性物質漏えい事故を想定した原子力防災訓練が行われました。

市内全域で防災ラジオなどによる訓練放送、緊急速報メールによる避難指示連絡訓練が行われたほか、原発から半径30km圏内に含まれる吉田町喜佐方地区住民の避難訓練が行われました。

避難先の松野町山村開発町民センターまで移動した喜佐方地区の住民30人は、実際の避難時に行われる受け付け、スクリーニング(身体



表面放射線量の簡易測定)、問診・行動調査の訓練に参加し、最後に市危機管理課職員から安定ヨウ素剤の説明を受けました。